

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆財務省7月経済報告、九州の判断留保 熊本地震で「影響の把握必要」

・財務省は7月の経済情勢報告をまとめた。全国の景気判断は「緩やかに回復しつつあるが、中東情勢の影響を注視する必要がある」との4月の前回判断の表現を維持。据え置きは12四半期連続。地域別では全国11地域のうち関東と東海について判断を引き上げ、8地域は据え置いた。九州は熊本地震を受けて判断を留保。

◆夏ボーナス増で実質賃金6カ月連続プラス 6月1.6%上昇、定着なお不安

・物価変動の影響を除いた実質賃金が6月まで6カ月連続で前年同月を上回った。好調な企業業績や人材の確保戦略を背景に夏のボーナスが増え、名目賃金を押し上げた。中東危機を受けた資源高は秋以降にエネルギー価格に波及する見通しで実質賃金のプラス圏定着には不安が残る。

◆AI活用するほど残業多い傾向、労働負荷軽減は道半ば 経財白書が指摘

・経済財政白書は企業の人工知能(AI)活用に関し、利用頻度が高いほど残業時間が長くなる傾向を指摘した。AIによる効率化が労働負荷の軽減に十分つながっていない現状を映す。パーソル総合研究所の調査を紹介した。AIの活用によって対象業務の作業時間は平均16.7%減少したのに、業務時間を短縮できたと答えた人は25.4%にとどまった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆TOTO、住宅設備を8～13%値上げ 12月受注分から

・住宅設備機器商品の希望小売価格を改定すると発表。12月1日受注分から実施。原材料価格の高騰や外部調達コストの上昇が続いており、自社のコストダウン努力だけでは吸収困難としている。主な対象商品と平均改定率は、衛生陶器が13%、ウォシュレットが10%、システムトイレと洗面化粧台が各9%、水栓金具とユニットバス・システムバスが各8%。

◆薄鋼板在庫、6月末は2カ月ぶり減少

・薄鋼板主要3品種(熱延、冷延、表面处理)の6月末のメーカー・流通在庫(速報値)は395万トンで前月末から4万5千トン(1%)減った。減少は2カ月ぶり。大型連休の影響で膨らんでいた在庫の消化が進んだ。前年同月と比べても5万4千トン下回る。建設向けの需要低迷が続く中、流通業者は調達に慎重になっている。

◆モノタロウ純利益21%増 1～6月、中東情勢で石油製品に駆け込み需要

・工具通販大手のMonotaRO(モノタロウ)が発表した2026年1～6月期の連結決算は純利益が前年同期比21%増の185億円。同期間として16年連続で過去最高。売上高は21%増の1932億円、営業利益は25%増の273億円。中東情勢を受け、石油由来製品の値上がり前に調達しようとする動きあった。機械用洗浄剤やゴム手袋、業務用フィルムなどが好調。

《 注目商品 》

■パナソニック、狭所に適した「エアダスター」

・電動工具ブランド・EXENAから、狭所作業に適したコンパクトな「エアダスター」を発売。狭い場所やピンポイントでの作業に最適化した電池パック18V専用ブロワー。本体重量500g、標準ノズル装着時の全長229mmとコンパクトでねらった箇所をピンポイントで吹き飛ばす。



■アイリスオーヤマ、ビルトイン食器洗い乾燥機「LiBish slim30」

・ビルトイン食器洗い乾燥機市場に新規参入し、日本国内の業界最小幅30cmで6人分の大容量を実現した「LiBish slim30(リビッシュ スリムサーティ)」を発売。狭小キッチンでも設置やすく、一般的な45cm幅の製品に比べて2Lペットボトル6本分のスペースを有効活用。



■奥行き15cmで設置できるコンパクトな手洗器

・ミラタップは、奥行き15cmとコンパクトで、玄関や廊下などに設置できる手洗器「ルメロ」を発売。「ミニマムラグジュアリー」をコンセプトにした壁付け手洗器。マットな質感とほどよく丸みを帯びた形状が内装・家具と調和。

